



## 7-2. [施策②]あいのりタクシーの運行ルートの見直し

通勤・通学などで重要な役割を担っている広域交通体系を有効活用していくため、普通列車や特急列車が多く停車する JR 江北駅への接続を強化し、白石町に暮らしながら希望する町外への移動できるようなサービスを確保します。

### ● 施策の背景・必要性

現状で「道の駅しろいし」と「牛津駅」を結んでいるあいのりタクシーの平均利用者数は、概ね 1.0 人/便以下となっており、利用そのものが顕著に低迷しております。また、利用者の乗降場所は「牛津駅」が突出しており、牛津駅周辺には大きな商業施設等は立地していないことなどを踏まえると、鉄道駅への移動が主な利用目的と考えられます。

西九州新幹線の開通に伴い、白石町の広域移動を考える上で重要度が増大した「JR 江北駅」への移動手段の確保について、住民から要望があがっている状況です。

- あいのりタクシーの運行ルート「道の駅しろいし～牛津駅」から「道の駅しろいし～江北駅」へ見直します。
- 特に、通勤・通学時間帯は普通電車の発着時刻を考慮した運行ダイヤに設定する等、福富エリアと鉄道駅との接続を強化します。

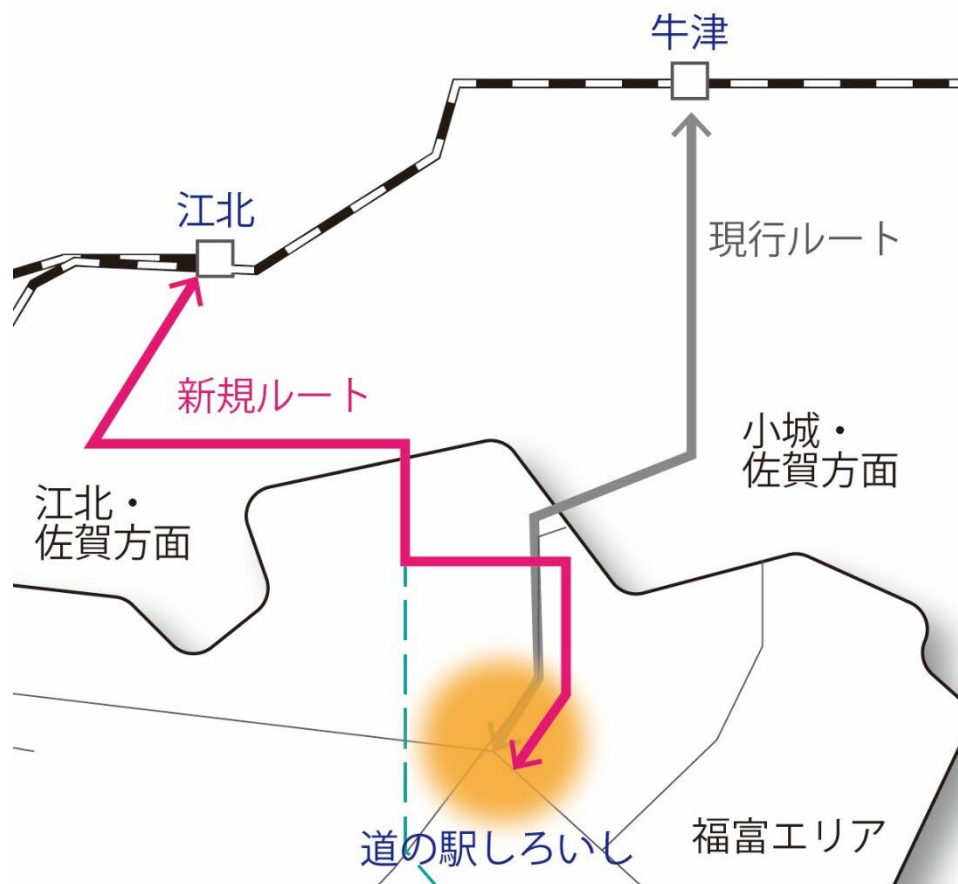


図 98 あいのりタクシーの運行ルートの見直し